

NEWS LETTER No.51

2022年 年頭所感

皆様、新年明けましておめでとうございます。

会員企業及び関係各位には平素より格別のご高配を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、昨年2021年を振り返りますと、コロナ禍を跳ね返してIPOは暦年で125社、東京プロマーケット13社、計138社と活況でした。また1,000億円を超える大型IPO5社となっただけでなく、3,000億円を超える大型M&Aもあり、VCファンドのEXIT実績が数年前と桁違いな結果となった年でありました。日本ベンチャーキャピタル協会（JVCA）は引き続き会員数増加の勢いが増しており、年初の257社から年末には37社増の294社に至るまでとなりました。

JVCAは3委員会9部会の体制で活動しておりますが、各部会を中心に年20回を超える勉強会を開催しました。地方創生トップ懇談会も2年ぶりに10月に関西にて実開催することができました。また例年のキャピタリスト研修を5月に開催し、加えて11月に初の試みとして中堅キャピタリスト向け研修のパイロット版を開催するなど、業界のエコシステム発展のため新たなチャレンジを行いました。

また政府省庁財界からのスタートアップ業界ならびにVC業界への期待もより一層高まってきており、2020年からの金融庁の「金融審議会 市場制度ワーキンググループ」へのオブザーブ参加や日本証券業協会の「非上場株式の発行・流通市場の活性化に関する検討懇談会」への委員参加に加え、経済団体連合会の「スタートアップエコシステム変革タスクフォース」への委員参加、経済産業省の「我が国における健全なスタートアップ投資契約の在り方に係る検討会」への委員参加など積極的に協力して参りました。

そして機関投資家資金の流入拡大に向けて、4月にPreqin様と共催にてVCパフォーマンスベンチマークウェビナーを開催、8月に国内VCパフォーマンスベンチマーク第3回をリリース、9月にLP研究会との共催ウェビナーを開催、10月にAVCJ Private Equity & Venture Forumに登壇、12月 Super Return Japan登壇と活動を加速して参りました。

更に、JVCA会員のコンプライアンス指標作りを目指してコンプライアンス推進室を新たに創設し、約1年を費やして「JVCAコンプライアンスハンドブック」を完成させました。

ところで、JVCAでは

「VCが我が国の新産業創出の牽引者となり、多様で持続可能な社会の実現に貢献する」をミッションとし、以下の3つを活動方針として掲げております。

1. VC × 機関投資家 年間1,000億円の機関投資家マネー流入に向けて、国内外機関投資家の皆様との人的交流を深める
2. 大企業×スタートアップ 大企業の戦略に基づいた持続的なCVC活動を支援すると共に、大企業によるスタートアップのM&A促進に寄与する
3. 新産業 × 政策提言 次世代を代表するメガベンチャー創出を目指して、官民一体となって政策の構築に関与していく

それに加えて、2021年10月の理事会にて以下の目標を表明することを決定しました。

「三つの1兆」2023年12月までの実現を目指す

IPOから1年以内に時価総額1兆円を超える事例を創る！

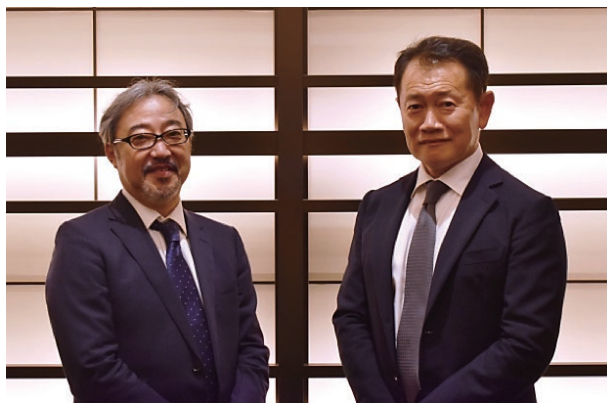
スタートアップの年間資金調達総額を1兆円超とする！

VCファンド年間組成総額を1兆円超とする！

我が国の新産業創出の牽引者として、2022年も引き続きスタートアップエコシステムの発展、拡大に貢献して参る所存です。

本年も皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、関係各位の益々のご健勝とご発展を心より祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長 赤浦 徹
中野慎三



2021年政府省庁連携ならびに公的職務への対応

2021年は政府・省庁から当業界およびJVCAへのご期待を多くいただいた1年でした。会長を始め、理事・委員が官民連携のため各種役職に就き、意見表明しております。今後も我が国のスタートアップエコシステム発展の為の提言を行ってまいります。

- ・金融庁 金融審議会 市場制度ワーキンググループ（赤浦会長、中野会長、松本理事）
- ・日本証券業協会 非上場株式の発行・流通市場の活性化に関する検討懇談会（松本理事、村田企画部長）
- ・経済産業省 スマートかつ強靱な地域経済社会の実現に向けた研究会（林理事）
- ・経済産業省 スタートアップ・エコシステム形成に関する研究会（赤浦会長）
- ・経済産業省 我が国における健全なスタートアップ投資契約の在り方に係る検討会（赤浦会長、平野理事）
- ・経済産業省 グローバルネットワーク協議会（林理事）
- ・国土交通省 i-construction推進コンソーシアム企画委員会（岡橋委員）
- ・日本経済団体連合会 スタートアップエコシステム検討に関する変革タスクフォース（中野会長）
- ・東京都 グローバルアクセラレーションシッピングプログラム選出審査会（赤浦会長）
- ・東京都 東京金融賞審査会（坂本常務理事）

中堅キャピタリスト向け研修（パイロット版）（2021/11/19・20）

VC業界のファンド総額が増大する中、キャピタリスト数の増加とその能力向上は、当業界における大きな課題といえます。このたびJVCAでは研修会社のIDEAM社に委託し、VC/CVC各社における中堅キャピタリストを対象とした研修プログラムを開発いたしました。

中堅キャピタリスト（3～5年目相当）にとって必要なマインドセット・ハードスキル・ソフトスキル・業務知識という各領域において学ぶべき項目を洗い出し、第一線のキャピタリストならびに当該領域に精通した講師をお迎えして行う、実践的かつ体系的なプログラムとなっています。

今回はパイロット版の位置づけにて、JVCA理事・監事の会社に限定して募集を行い、テストケースとして20名の方にご受講いただきましたが、次回は会員企業の皆様に募集を拡大し、2022年春頃に実施する予定です。



■プログラム

| | テーマ | | テーマ |
|-----------|--|-----------|--|
| 11月19日（金） | <キャピタリストのキャリア> 起業家と共に歩み続ける投資家論・キャリア論 | 11月20日（土） | <バリューストックアップ（組織・人）> 企業成長・自己変容に資する起業家メンタリング実践論 |
| | <コンプライアンス実務> コンプライアンスとキャピタリストとしての行動規範 | | <EXIT戦略 IPO> 中堅キャピタリストに必要となるIPO実務知識 |
| | <投資契約> 投資契約実務スキル応用編 | | <EXIT戦略 M&A> 戦略的M&Aの実現に向けて |
| | <リスクマネジメント> 投資先の成長を支えるリスクマネジメント概論 | | <講師セッション> 次世代を担うキャピタリストに、今伝えたいこと |
| | <バリューストックアップ（事業）> 投資先バリューストックアップ・グロース支援 | | <交流会> |



「コンプライアンスハンドブック」を作成しました（2021/12）

スタートアップ投資家が多様化し、またVC/CVCの運用規模も増大する中で、業界としてより一層、法令遵守やコンプライアンスに対する意識向上が必要になっています。そこでJVCAではコンプライアンス推進室を立ち上げ、「JVCA Compliance Handbook（コンプライアンスの手引き）」を会員の皆様限定で作成いたしました。

本文の執筆および監修は森・濱田松本法律事務所の先生方に行っていただき、事例執筆やカバーする分野の洗い出しなどをJVCAコンプライアンス推進室を中心としたプロジェクトチームにて行いました。

会員専用ページよりダウンロード入手が可能となっていますので、是非ご活用いただきますとともに、今後はこの内容を基にした勉強会も継続開催していきますので、積極的にご参加ください。



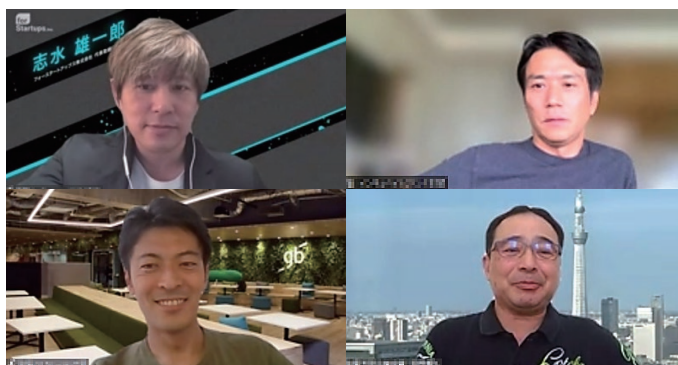
第129回定例勉強会「ハラスメントに対するキャピタリストとしてのリスクマネジメント」(2021/8/24)

コンプライアンス意識を業界全体として高めていくべきとの課題認識により、毎年ハラスメントをテーマに定例勉強会を開催しています。今年度もAZX総合法律事務所 雨宮美季氏より昨今のコンプライアンス関連情勢、法令の動向、事業主が講ずべき措置や相談を受けた場合の対応などについてお話しいただいた後、聞き手として五嶋一人VCナレッジ部会委員が登壇し、女性キャピタリストが増えてきたことによる相談事例や、スタートアップの退職者のトラブル事例など、具体的事例について対談を行いました。JVCAでは引き続きコンプライアンス意識の醸成ならびにハラスメントについての共通認識を深めるべく、勉強会を行ってまいります。



第17回ナレッジ勉強会「キャピタリストの採用・育成・評価・報酬 ～各社の取組を皆で語り合う～」(2021/9/24)

ベンチャーエコシステム発展拡大のために、キャピタリストの採用・育成は重要なテーマといえます。今回は、インキュベイトファンド 本間真彦氏、グローバル・ブレイン 立岡恵介氏、大和企業投資 平野清久理事/VCナレッジ部会長に登壇いただき、志水雄一郎VCナレッジ部会委員がモデレーターを務めて採用・育成・評価・報酬をテーマに勉強会を開催いたしました。各社の人事制度を可能な範囲で披露いただいた上で、参加者から各社の仕組みの詳細や課題について議論いただき、業界全体としてキャピタリストの採用・育成について議論する勉強会となりました。JVCAのナレッジ勉強会では、今後も会員の皆様が相互に議論できる場をご提供してまいります。



「LP研究会・JVCA共催ウェビナー 機関投資家オルタナティブ投資担当者とVC-GPとの相互理解に向けて」(2021/09/29)

2021年9月29日に、LP-GPの相互理解を目指したウェビナーを機関投資家オルタナティブ投資担当者が集うLP研究会と共催で行いました。最新のベンチマーク解説の後、「国内VCの現状と機関投資家からみた我が国VCアセットクラスとは」と題したパネルディスカッションで、GPの方からはVC業界における新たな挑戦や注目するスタートアップ等について、LP投資家の方からは国内VCアセットクラスへの期待や要望についてお話いただきました。それぞれの立場から相互理解につながるお話をいただき、国内機関投資家の皆様のVCアセットクラスへの期待を感じる内容となりました。



産学連携/技術投資セミナー～大企業発・産学連携ベンチャーがIPOするまで QDレーザ菅原社長に聞く～(2021/10/7)

今回は富士通研究所のスピノフベンチャーとしてスタートし昨年2月にIPOされたQDレーザ 菅原充氏をお招きいたしました。技術・事業内容をご紹介いただいたのち、山岸広太郎理事/産学連携部会長が聞き手となり、大企業からのスピノフベンチャーで良かった点や苦労した点、IPOにあたって苦労した点、ベンチャーキャピタルがどう貢献したか等をお話いただき、最後に技術系ベンチャーへの投資を考えている皆様にメッセージも頂戴いたしました。

参加者から質問も多数寄せられ、短い時間ながらも密度の濃いウェビナーとなりました。



第8回地方創生VCトップ懇談会（関西）（2021/10/29）

地域におけるVC各社の関係強化を目指して毎年開催している「地方創生VCトップ懇談会」を、今年度は関西にて開催いたしました。

当日は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場はJVCA関西会員と関西のベンチャーエコシステム関係者1社1名のみとし44名の皆様にご参加いただき、その他地域の会員および全国の自治体や起業家等の66名の皆様には、オンラインにてご参加いただきました。

冒頭、経済産業省様、金融庁様、東京証券取引所様より地方のベンチャーエコシステム活性化に関わる政策や制度などをプレゼンテーションいただいた後、関西3都市それぞれの個性や優位性を活かした3セッションを行い、地域の特性を活かしたベンチャーエコシステムの発展拡大および経済活性化に向けて、気づきを得ていただくことを目指しました。最後に会場参加の皆様からは、近況報告や感想などを一言ずつ頂戴し、密を避ける形での名刺交換会を行いました。なお、当懇談会実施前には地元起業家との交流イベントも開催いたしました。

JVCAは今後とも地域のベンチャーエコシステム発展に寄与するべく活動してまいります。



CVC Open Innovation Forum2021（オンライン開催）（2021/12/2）

CVCならではの課題ならびにその解決に向けた相互啓蒙とネットワーキングを目的として例年開催している「CVC Open Innovation Forum」について、今年度はオンラインで2本のパネルディスカッションを実施いたしました。

「CVCにおけるLP投資の効果について」のパネルでは、ジャフコ グループ 伊藤慶紀氏、DNX Ventures 中垣徹二郎氏をお招きし、モデレーターを片岡正光理事/大企業連携部会長、小玉丈大企業連携部会委員が務め、LP投資におけるこれまでの実績や、戦略的なオープンイノベーションを進める上でのベストプラクティスなどをお話いただきました。「スタートアップが求めるCVCとは、協業のあるべき姿について」のパネルでは、UPDATER 大石英司氏、Photosynth 河瀬航大氏をお招きし、モデレーターを近藤裕文大企業連携部会委員が務め、起業家から見た事業会社（CVC）との協業のポイントやその成果などを、具体事例に基づいてお話いただきました。

各社の実例をもとにした貴重なナレッジを共有いただき、参加された主にCVC会員の皆様にとってオープンイノベーション/CVC活動を進めていく上でのヒントを得ていただく機会となりました。



産学連携/技術投資セミナー～カーボンニュートラルのビジネス機会～ (2021/12/7)

カーボンニュートラル領域にフォーカスしたオンラインセミナーを実施いたしました。まずは経済産業省 笠井康広氏よりカーボンニュートラルに向けた政策について、続いて東京大学 馬田隆明氏よりカーボンニュートラルのビジネス機会についてお話をいただきました。続くパネルディスカッションでは、グリーンテック領域のシード起業家2社、EVERSTEEL 田島圭二郎氏、SUN METALON 西岡和彦氏をお迎えし、モデレーターを坂本教児産学連携部会委員が務め、グリーンテック領域の可能性やベンチャーキャピタルへの期待などをお話をいただきました。

今後さらに期待が寄せられるであろうカーボンニュートラル領域について、多様な視点から理解を深める機会となりました。



第130回 定例勉強会～2021年 VC業界を振り返り～ (2021/12/16)

2021年最後の会員向けイベントとして定例勉強会を開催し、会場には1社1名として約70名の方に、オンラインで約150名の方にご参加いただきました。ベンチャーエンタープライズセンター 黒田啓征氏より「2021年の投資動向概況」についてお話しいただき、続くパネルディスカッションでは赤浦徹会長(インキュベイトファンド)、中野慎三会長(伊藤忠テクノロジーベンチャーズ)、仮屋園聡一名誉会長(グロービス・キャピタル・パートナーズ)、南場智子理事(デライト・ベンチャーズ/DeNA)にご登壇いただき、坂本信介常務理事(三菱UFJキャピタル)がモデレーターを務めました。パネルではスタートアップのEXIT状況、機関投資家マネー流入や政策提言に関する動き、中堅キャピタリスト研修新設やコンプライアンスへの取組などの活動報告とその所感をお伝えし、最後は日本経済を押し上げるため、業界として来る新年も精力的に活動していくべきという気運を皆様と共有いたしました。



日経NEXTユニコーン調査 (2021/12/3)

日本経済新聞社にて日本の有望スタートアップ企業の実態を調査する「NEXTユニコーン調査」がJVCA協力のもと行われました。会員企業様他より推薦いただいた有望な未上場企業175社の情報をもとにランキングが行われ、12月3日に日本経済新聞、日本経済新聞電子版に結果が掲載されました。5回目となる今年度は企業価値が1,000億円を超えた企業が6社と前年より倍増する結果となりました。

本社調査 1000億円超スタートアップ

| 企業名(単体) | 企業価値(億円) |
|----------------------|----------|
| アイスクリーム・ネットワークス | 3265 |
| スノーピーク | 2917 |
| スター・ホールディングス | 1731 |
| エフエムエス(株) | 1336 |
| スズパイク(京都府) | 1312 |
| 日研(株) | 1026 |
| アストロスターボート・インテグレーション | 818 |
| アストロスターボート・インテグレーション | 753 |
| ピコキ | 575 |
| アダムマウス | 510 |

AIや新素材、国内6社 海外資金テコに倍増

米は70社、世界水準遠く

『日本経済新聞』2021年12月3日朝刊 (発行：日本経済新聞社)

Forbes Japan「最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング」発表 (2021/11/25)

日本版MIDAS LIST(日本で最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング)が2021年もForbes Japan 1月号(2021年11月25日発売)に掲載されました。2020年11月から1年間のIPOおよびM&Aによるキャピタルゲインを対象としたランキングでは、1位は藤井淳史氏(ジャフコ グループ)、2位はデービッド・ミルスタイン氏(Eight Roads Ventures Japan) 3位は堀新一郎氏(Z Venture Capital)と、会員VC各社様のキャピタリスト名が連なる結果となりました。

日本の起業家 BEST10
200 SUPERSTAR ENTREPRENEURS

JAPAN'S MIDAS LIST
最も影響力のあるベンチャー投資家BEST10

『Forbes JAPAN』2022年1月号 (発行：リンクタイズ株式会社)

事務局からのお知らせ

[1] JVCA理事会開催報告

JVCAでは隔月で理事会を開催しております。

今年度は、2021年6月8日、7月16日、8月24日、10月26日、12月14日に開催いたしました。

5回合わせまして、30件の承認事項を審議し、42件の事項の報告を行っております。

また、今年度は「JVCA年間活動方針」「政策提言」「業界のコンプライアンス」「女性の活躍」等について理事による自由討議も行い、その一部はプロジェクトとしての活動も行っております。

今後も業界団体として業界ならびにスタートアップエコシステム発展につながる議論を行ってまいります。

[2] 今後のイベント予定

■「Let's Go Global Fireside Chat ～未上場市場へのグローバル機関投資家の参入トレンドの内情を知る～」

日時：2022年2月8日（火）12:00～13:00 ※オンライン

対象：全会員（VC会員・CVC会員・賛助会員）※1社5名

※ご案内しておりますメールに記載しているWEBページよりお申込ください

■CVCイベント：2月頃

■ナレッジ勉強会：3月頃

■JVCAトップ懇談会：3～4月頃

※上記イベントを含めましてJVCA開催イベントはそれぞれ対象の方にメールでご案内しております。

現在イベントによりオフラインもしくはオンライン（ZOOM）で開催しておりますが、今後も新型コロナウイルスの感染状況を鑑みてオフライン/オンライン開催の判断をさせていただきます。開催方式はご案内のメールにてご確認ください。

[3] ご登録情報の変更について（マイページシステムへの移行について）

JVCAでは、会員の皆様の利便性向上を目指し、新たに「JVCA会員マイページシステム」を立ち上げます。

マイページでは、会員企業のご担当者が、JVCAに登録いただいている自社の各種情報を変更される際に、変更届の煩雑なやり取りを行うことなく、即時に各種変更（代表者変更、住所変更、E-mail送付先の追加削除等）が可能となります。

システム移行に伴い、以下お手順をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

・新システムは2月中旬よりご利用いただける予定です

（各社のJVCA窓口担当者様には、ログインならびにパスワード変更等のお手続きをお願いいたします）

・システム移行に伴い、1/18（火）～2/15（火）は各種情報変更をお受け出来ません

・1/18以降に発生したご登録情報変更は、システムカットオーバー後に、各社窓口担当者様にてマイページより直接変更を行っていただくこととなります

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.51

■発行 2022年1月

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA事務局

〒107-6003 東京都港区赤坂1丁目12番32号 アーク森ビル3階

☐TEL: 03-5114-6667 ☐FAX: 03-5114-6668

☐E-mail: jimukyoku@jvca.jp ☐URL: <http://www.jvca.jp>

（新型コロナウイルス感染症拡大中はリモートワーク併用しております。

可能でしたらE-mailにてご連絡をお願いいたします。）

